

「お互いさま事業」モデル地区連絡会を開催しました！

令和2年12月11日（金）市川教育会館において、令和2年度「お互いさま事業」モデル地区連絡会を開催しました。

「お互いさま事業」とは、ゴミ出しや買い物代行など、日常のちょっとした困りごとを身近な地域で支えあう活動です。



いちかわ社協より、コロナの影響でモデル実施期間（2年間）を1年延長する説明をおこないました。また、モデル地区としてお互いさま事業に取り組んでいる3地区（真間地区、菅野・須和田地区、南行徳地区）より各3名、計9名の委員が出席され、活動状況報告及び意見交換がありました。

【出席された委員の意見】

- お互いさま事業の役割は、地域の人と人をつなげることであると思っている。
- 地域ので解決していけるようにしたい。
- お互いさま事業は高齢者ばかりに目がいってしまうけれども、子育てサロンでお話を聞くと若い層でも困っている人が多い。
- 自治会に理解を求めるために、地区社協の関係者が直接出向いて説明することに力をいれている。
- 改めて日頃のサロン活動が大切であることを認識した。
- コロナ禍で活動が思うようにできていないが、他市へ視察に行くなど準備をすすめている。
- お互いさま事業の協力員は、近所で無理なくできる方を見つけることが大事。
- この事業を市民に浸透させていくことが大事であり、もっと周知が必要。
- 地区社協の広報誌で、行政のゴミ出しのことなども含めて、相談できる窓口の情報を発信する予定。
- コロナ禍でも、お互いさま事業の活動をしている他地区の話聞いて刺激を受けた。

活発なご意見ありがとうございました。

次回の本連絡は、令和3年7月頃を予定しています。